

第19回 大阪男声合唱団 定期演奏会

2019年7月21日(日)

開場 13:15 開演 14:00

第一生命ホール

主催：大阪男声合唱団

後援：大阪大学男声合唱団OB会



第18回定期演奏会(2018年7月22日 ドーンセンター)

ご挨拶

お暑い中、本日のご来場まことにありがとうございます。

大阪男声合唱団は大阪大学男声合唱団のOBによって1954年(昭和29年)に発足、2001年からは毎年の定期演奏会を定着させ、今回で19年目となりました。東京と大阪のメンバーが一堂に会し、今回は60名を超えるステージとなりました。第12回からスタートした東京、大阪の隔年開催が定着し、来年は大阪での開催となります。

第4ステージの「水のいのち」では大阪外国語大学グリークラブOB合唱団(東京)及び東京甲陵会合唱団の皆様が共に歌って下さり、一味違ったステージとなりそうです。

平均年齢はおよそ70歳ですが、気持ちはまだまだ青年、これからも成長し続けたいと思っておりますので、なお一層のご支援をお願い申し上げます。

どうぞ最後までごゆっくりお過ごしください。演奏の出来や選曲、プログラム冊子等について、ご意見、ご感想を団員にお寄せくださると幸甚です。アンケートにもご協力ください。

本日のご来場、心からお礼申し上げます。

大阪男声合唱団 団長 今村 陽一

I. 男声合唱のための「男の海の歌」

編曲：源田 俊一郎

指揮：坂田 裕二 ピアノ：内藤 菜穂子

1. 海の唱歌メドレー
2. 二つのナポリターナ
3. 真夏の果実
4. 海 その愛

II. 男声合唱とピアノのための「くちびるに歌を」

作曲：信長 貴富

指揮：萩原 寛明 ピアノ：内藤 菜穂子

1. 白い雲
2. わすれなぐさ
3. 秋
4. くちびるに歌を

《 休 憩 》

III. グノー「第2ミサ」

作曲：Charles Gounod

指揮：甲和 伸樹 オルガン：坂田 百合子

1. Kyrie
2. Gloria
3. Sanctus
4. O salutaris hostia
5. Agnus Dei

IV. 男声合唱組曲「水のいのち」

作曲：高田 三郎

作詩：高野 喜久雄

指揮：本城 正博

ピアノ：内藤 菜穂子

1. 雨
2. 水たまり
3. 川
4. 海
5. 海よ

I. 男声合唱のための「男の海の歌」

本日最初のステージは、源田俊一郎編曲「男声合唱のための 男の海の歌」から4曲(海の唱歌メドレー、二つのナポリターナ、真夏の果実、海 その愛)を演奏します。

作曲家・源田俊一郎は、童謡・唱歌からアニメソング・ポピュラーに至る幅広い編曲で知られ、「ふるさとの四季」、「いつの日か」、「ホームソングメドレー」等、多くの合唱編曲集を発表しています。

「海の唱歌メドレー」4曲の内「うみ(うみはひろいな)」、「海(松原遠く消ゆるところ)」、「われは海の子」はいわゆる文部省唱歌。それぞれ昭和、大正、明治の教科書に収められました。「砂山」は北原白秋作詞、中山晋平作曲で1922=大正11年に発表。いずれも、長く歌い継がれた名曲です。

うみ 林 柳波 作詞

うみはひろいな おおきいな つきがのぼるし ひがしむ
うみはおおなみ あおいなみ ゆれてどこまで つづくやら

海 文部省唱歌

松原遠く消ゆるところ 白帆の影は浮かぶ / 干綱(ほしあみ)浜に高くして かもめは低く波に飛ぶ
見よ昼の海 見よ昼の海
島山闇に著(しる)きあたり 漁火光り淡し / 寄る波岸に緩くして 浦風軽く沙(いさご)吹く
見よ夜の海 見よ夜の海

砂山 北原白秋 作詞

海は荒海 向こうは佐渡よ すずめなけなけ もう日は暮れた / みんな呼べ呼べ お星さま出たぞ
暮れりゃ砂山 汐鳴ばかり すずめちりぢり また風荒れる / みんなちりぢり もう誰も見えぬ

われは海の子 文部省唱歌

われは海の子 白浪の さわぐいそべの松原に / 煙たなびくとまよこそ わがなつかしき住みかなれ
生まれて潮にゆあみして 波を子守の歌と聞き / 千里寄せくる海の気を 吸いて童となりけり

「二つのナポリターナ」は、ナポリ語(イタリア語とはかなり異なります)によるカンツォーネ「サンタ・ルチア」と「帰れソレントへ」によるメドレーです。前者は、ナポリ湾沿いの風光明媚な地「サンタ・ルチア」で、船頭が客を夕涼みに舟へ誘う歌。後者の「ソレント」もナポリ近郊の有名なりゾートですが、こちらは、去ろうとする恋人を引き留める切実な恋の歌です。

サンタ・ルチア ナポリ民謡 / 小松 清 日本語詞

空に白き月の光 波を吹くそよ風よ / 白銀の波にゆられ 舟は軽く海をゆく
かなた島へ 友よ行かん サンタ・ルチア

Sul mare luccica l'astro d'argento, Placida è l'onda; prospero è il vento,
Venite all'agile barchetta mia! Santa Lucia!

帰れソレントへ

G.De クルティス 作詞／徳永政太郎 訳詞

うるわしの海は うつつにも夢む 君の声のごと わが胸をうつ
オレンジの園は ほのかにも香り 恋に嘆く子の 胸にぞしむよ
あわれ君は行き われはただひとり なつかしの地にぞ 君を待つのみ
帰れよ われを捨つるな 帰れソレントへ 帰れよ

Vide 'o mare quant'è bello! Spira tantu sentimento, comme tu a chi tiene mente, Ca scetato 'o faje sunnà.
Guarda, gua' chistu ciardino; siente, sie' sti sciure arance: nu profumo accussi fino dintò 'o core se ne va...
E tu dice. "T' parto, addio!" T'alluntane da stu core, da la terra de l'ammore, tiene 'o core'e nun turnà?
Ma nun me lassà, nun darne stu turmiento! Torna a Surriento, famme campà!

「真夏の果実」と「海 その愛」について、煩わしい紹介は不要でしょう。前者は、桑田佳祐の初監督作品「稲村ジェーン」(1990=平成2年)主題歌、後者は、加山雄三による1976=昭和51年発表の同名アルバムに収録されました。

真夏の果実

桑田佳祐 作詞

涙があふれる悲しい季節は 誰かに抱かれた 夢を見る
泣きたい気持ちは言葉に出来ない 今夜も冷たい雨が降る
こらえきれなくてため息ばかり 今もこの胸に夏は巡る
四六時中も好きと言って 夢の中へ連れて行って / 忘れられない Heart & Soul 声にならない
砂に書いた名前消して 波はどこへ帰るのか / 通り過ぎ行く Love & Roll 愛をそのままに
マイナス100度の太陽みたいに 身体を湿らす恋をして
めまいがしそうな真夏の果実は 今でも心に咲いている
遠く離れても黄昏時は 熱い面影が胸に迫る
四六時中も好きと言って 夢の中へ連れて行って / 忘れられない Heart & Soul 夜が待てない
砂に書いた名前消して 波はどこへ帰るのか / 通り過ぎ行く Love & Roll 愛をそのままに
こんな夜は涙見せずに また逢えると言って欲しい / 忘れられない Heart & Soul 涙の果実よ

海 その愛

岩谷時子 作詞

海に抱かれて 男ならば たとえ破れても もえる夢を持とう
海に抱かれて 男ならば たとえ独りでも 星をよみながら 波の上を 行こう
海よ俺の海よ 大きなその愛よ 男の想いをその胸に抱きとめて
あしたの希望を 俺たちに くれるのだ
海に抱かれて 男ならば たとえ一度でも 嵐のりこえて 遠い国へ 行こう
海よ俺の母よ 大きなその愛よ 男のむなしさ ふところに抱き寄せて
忘れさせるのさ やすらぎを くれるのだ
あしたの希望を 俺たちに くれるのだ

(坂田 裕二)

II. 男声合唱とピアノのための「くちびるに歌を」

2005年に作曲されたこの曲集は、近代ドイツ文学の名詩をテキストとして、ドイツ語による原詩と日本語による訳詩の両方により構成されています。それについて作曲者の信長貴富氏は次のように述べています。

「ドイツ語によってロマンティックな音像を導き出し、母国語によって懐深くの情感を呼び覚ますというのがねらいです。二カ国語が交錯し、融合し、響きに昇華していくさまを思い描きながら作曲しました。どちらかという、詩に忠実に音を付していくというよりは、詩から受けたインスピレーションを音像に変換し、その中に言葉を再発見していくという作業だったように思います。作曲されていない詩句がしばしば見受けられるのはこのような理由からで、作曲者の意図によって詩が自由に構成された形となっています。」

1. 白い雲 Weiße Wolken

ヘルマン・ヘッセが自身の人生観を、青空を漂う雲に重ねたともいえる詩。躍動感に満ちた音楽により生き生きと壮大に描かれています。高橋健二の訳詩を用いて構成されています。

2. わすれなぐさ Vergißmeinnicht

ヴィルヘルム・アレントの四行詩、上田敏の訳詩。幻想的な静寂の中から溢れ出す情熱的な音楽。曲途中のアカペラとハミングによる情景描写、後半の三連符の連続による波の表現が印象的です。

3. 秋 Herbst

ライナー・マリーア・リルケによる詩と茅野蕭々の訳詩。オスティナート(執拗反復技法)によりひたすらに繰り返されるfallen(落ちる)。すべてが落下する世界。そしてそれを支える者の存在が示されます。

4. くちびるに歌を Hab' ein Lied auf den Lippen

どんな苦境にあるときにも勇気を与えてくれるツェーザー・フライシュレンの名詩「心に太陽を持って」が作曲者自身による訳詩と自由なテキスト構成により、優しく、温かく、力強い音楽で感動的に歌われます。

(萩原 寛明)

1. 白い雲 Weiße Wolken

O schau, sie schweben wieder
wie leise Melodien
vergessener schöner Lieder
am blauen Himmel hin!

おお見よ、白い雲はまた
忘れられた美しい歌の
かすかなメロディのように
青空をかなたへ漂いゆく!

Kein Herz kann sie verstehen,
dem nicht auf langer Fahrt
ein Wissen von allen Wehen
und Freuden des Wanderns ward.

悲しみと喜びを
味わいつくしたものでなければ
あの雲の心はわからない

Ich liebe die Weißen, Losen
wie Sonne, Meer und Wind,
weil sie der Heimatlosen
Schwestern und Engel sind.

2. わすれなぐさ Vergißmeinnicht

ながれのきしのひともとは、
みそらのいろのみずあさぎ、
Ein Blümchen steht am Strom
Blau wie des Himmels Dom;

なみ、ことごとく、くちづけし
はた、ことごとく、わすれゆく。
Und jede Welle küßt es,
Und jede auch vergißt es.

3. 秋 Herbst

Die Blätter fallen, fallen wie von weit,
als welkten in den Himmeln ferne Gärten;
sie fallen mit verneinender Gebärde.
葉が落ちる
大空の遠い園が枯れるように
ものを否定する身振で落ちる

Und in den Nächten fällt die schwere Erde
aus allen Sternen in die Einsamkeit.
そうして重い地は夜々に
あらゆる星の中から寂寥へ落ちる

Wir alle fallen. Diese Hand da fällt.
Und sieh dir andre an: es ist in allen
我々はすべて落ちる この手も落ちる

しかし一人いる この落下を
限りなく優しく両手で支える者が

4. くちびるに歌を

Hab' ein Lied auf den Lippen

Hab' ein Lied auf den Lippen
mit fröhlichem Klang,
und macht auch des Alltags
Gedränge dich bang!
Hab' ein Lied auf den Lippen,
dann komme, was mag!
Das hilft dir verwinden
den einsamsten Tag!

くちびるに歌を持って
心に太陽を持って
ひとのためにも言葉を持って
そしてこう語りかけよう――

嵐が吹こうと
吹雪が来ようと
地上が争いに満たされようと

くちびるに歌を持って
心に太陽を持って
ひとのためにも言葉を持って

※作曲者の意図により詩句の省略等、自由に構成されています
仮名表記、内容は楽譜に従い変更している箇所があります

Ⅲ. グノー「第2ミサ」

シャルル・フランソワ・グノー(Charles François Gounod : 1818-1893)は、19世紀中期～末に活躍したフランスの作曲家で、ゲーテの劇詩を題材にしたオペラ《ファウスト》が一番の代表作として知られています。少年時代から音楽の才能を発揮しパリ音楽院で作曲などを学びました。その後、ローマへの留学をきっかけとしてキリスト教に傾倒して聖職者を真剣に目指したこともあり、数多くの宗教曲も遺しています。J.S.バッハの平均律クラヴィーア曲集の《前奏曲 第1番 ハ長調》を伴奏として取り入れた《グノーのアヴェ・マリア》として良く知られている声楽曲の原曲である《バッハの前奏曲第一番による瞑想曲》や《聖チェチーリアのための荘厳ミサ曲》などによって、グノーの名前は次第に知られるようになりました。

これらが作曲された1850年頃はパリを中心としたフランス全土で一般民衆によるアマチュア合唱や器楽の団体演奏活動が活発になりだした時期にあたります。この活動の発祥と云われるパリの男声合唱団「パリ市オルフェオン協会」は、新進作曲家として注目され始めたグノーを1852年に音楽監督に迎えました。この合唱団の名前にちなんで「オルフェオン運動」と呼ばれている民衆による演奏活動は、「第1回パリ万博」(1855)を契機としてフランス全土に広がり、万博の閉会イベントでは、フランス全土から集まった3千人以上による合唱演奏がされたとの記録が残っています。1862年には「パリ市オルフェオン協会」は1万人以上の団員を擁していたといいますが、1859年にグノーが発表した《ファウスト》の成功によりオペラの作曲活動への専念を目指し、1860年に音楽監督の座を辞しています。

本日演奏する《第2ミサ》の原題は《Deuxième messe pour les sociétés chorales : à quatre voix d'hommes (合唱協会のための第2ミサ:男声四部)》となっていて、まさにアマチュア男声合唱向けに書かれた小ミサ曲です。グノーが音楽監督を辞したのちに人数が増えすぎて分割された「パリ市オルフェオン協会」の後継となるパリ市内の2つの合唱団(Association des sociétés chorales de Paris et du Département de la Seine : パリの合唱協会とセーヌ支部)のために書かれた小ミサ曲で、1862年12月7日にパリで初演されています。このようなアマチュア合唱向けの小ミサ曲は、1853年から1893年にかけて、この《第2ミサ》を含む全7曲が出版されましたが、その中の《第3ミサ》は、《第2ミサ》の少年三部合唱版への編曲、《第6ミサ》は混声四部合唱への編曲というように、複数のリアレンジものを含んでいます。

大人数のアマチュア合唱団向けという事から、楽曲のほとんどが主旋律に対して他のパートが和音を重ねて演奏するホモフォニー形式を使用し比較的平易な曲になっていますが、2曲目の「Gloria」の曲中で、ほんの一瞬だけ各パートの旋律が絡み合うポリフォニー形式が取り入れられ、アマチュアにもポリフォニーの楽しさを少しだけ伝えよう、という作曲家グノーの意図が感じとれます。平易な楽曲ではあっても、聖職者を目指したグノーがミサ典礼文のテキストの意を十分に理解したうえで、信仰者として歌い手や聴き手に対して伝えるべきことが、自然に巧みに強調されているような作りの曲となっています。典礼ミサ曲は通常は「Kyrie」「Gloria」「Credo」「Sanctus/Benedictus」「Agnus Dei」の5曲からなりますが、このミサ曲では「Benedictus」のテキストは割愛され、その代わりに「O salutaris hostia」という本来は聖体降福式という儀式の中で歌われる聖体賛歌と、「Domine salvam fac」という皇帝ナポレオン3世への助勢を神に請う聖歌が追加されています。どちらもフランス教会に独特の聖歌で、フランスで活躍した作曲家のミサには「O salutaris hostia」が含まれているものが散見されます。

時間の都合により「Credo」及び「Domine salvam fac」の演奏は割愛いたします。

(甲和 伸樹)

Kyrie

Kyrie eleison,
Christe eleison,
Kyrie eleison.

主よ、憐れんでください。
キリストよ、憐れんでください。
主よ、憐れんでください。

Gloria

Gloria in excelsis Deo,
et in terra pax hominibus bonae voluntatis.

天のいと高きところでは神に栄光がありますように、
そして地上の善なる人々には平和がありますように。

Laudamus te, benedicimus te,
adoramus te, glorificamus te.

私たちは、主をほめ、主を讃え、
主を拝み、主をあがめます。

Gratias agimus tibi
propter magnam gloriam tuam,
Domine Deus, Rex coelestis,
Deus Pater omnipotens.
Domine Fili unigenite, Jesu Christe,
Domine Deus, agnus Dei, Filius Patris.

あなたの大いなる栄光のゆえに、
あなたに感謝します、
主なる神よ、天上の王よ、
全能の父なる神よ、
主なるひとり子よ、イエス キリストよ、
主なる神よ、神の子羊、父の御子よ。

Qui tollis peccata mundi,
miserere nobis,
qui tollis peccata mundi,
suscipe deprecationem nostram,
qui sedes ad dexteram Patris,
miserere nobis.

世の罪を取り去ってくださる御方よ、
私たちが憐れんでください、
世の罪を取り去ってくださる御方よ、
私たちの願いを聞き入れてください
父の右に座っておられる御方よ、
私たちが憐れんでください。

Quoniam tu solus Sanctus,
tu solus Dominus,
tu solus Altissimus, Jesu Christe,
cum Sancto Spiritu in gloria Dei Patris, Amen.

あなたが唯一の聖なる御方であるがゆえ、
あなただけが主であるがゆえ、
唯一の至高であるがゆえに、イエスキリストよ、
聖霊とともに、父なる神の栄光のもと、アーメン。

Sanctus

Sanctus Dominus Deus Sabaoth.
Pleni sunt coeli et terra gloria tua.
Hosanna in excelsis.

万軍の神なる主は聖なるかな
天地はあなたの栄光で満ちています。
天のいと高きところにホザンナ

O salutaris hostia

O salutaris hostia, quae coeli pandis ostium:
Bella premunt hostilia, da robur, fer auxilium.

おお、救いの生贄、天国の門を開かれる御方よ。
押し寄せる敵の軍勢との闘いを助け力を与えてください。

Agnus Dei

Agnus Dei, qui tollis peccata mundi:
miserere nobis.

世の中の罪を取り除いてくださった神の子羊よ、
私たちが憐れんでください。

Agnus Dei, qui tollis peccata mundi:
dona nobis pacem

世の中の罪を取り除いてくださった神の子羊よ、
私たちに我らに平穏を与えてください。

IV. 男声合唱組曲「水のいのち」

この曲は1964年に初演され、以来50年以上を経ても日本の代表的な合唱曲の一つとして歌い継がれている高田三郎の名曲です。

詩は高野喜久雄。高田三郎と高野喜久雄は、「わたしの願い」「内なる遠さ」「ひたすらな道」など珠玉の合唱作品を生み出しています。「水のいのち」による水の旅は、わたしたちの生命のドラマでもあります。地上の万物に分け隔てなく降り注ぐ「雨」、いのちの誕生です。そして「水たまり」の泥水にも低いほうへ流れ出そうとする意志と高さにはいわずにあこがれる小さなところがある、私たちに似ている、と歌います。「川」はあらがいがたく下に向かいながら、空の高みにこがれて、石や魚をみごもります。「海」はいのちの終わるところ。だがその海の底においても、白い雪(マリンスノー)が、まこと下から上へと降りしきる。上へ向かう「こがれ」の亡き骸のように。そして海から天へ昇り、雲となり再び降るとき、あらたな「水のいのち」が生まれます。

本日は、一人ひとりが歩んできた道、人生としての生き方、が感じられるような演奏ができれば幸いです。お楽しみください。

(本城 正博)

1. 雨

降りしきれ 雨よ
降りしきれ
すべて
立ちすくむものの上に
また
横たわるものの上に

降りしきれ 雨よ
降りしきれ
すべて
許しあうものの上に
また
許しあえぬものの上に

降りしきれ 雨よ
わけへだてなく
涸れた井戸
踏まれた芝生
こと切れた梢
なお ふみ耐える根に

降りしきれ
そして 立ちかえらせよ
井戸を井戸に
庭を庭に

木立を木立に
土を土に

おお すべてを
そのものに
そのものにてに

2. 水たまり

わだちの くぼみ
そこの ここの
くぼみにたまる
水たまり
流れるすべも めあてもなくて
ただ
だまって
たまるほかはない
どこにでもある 水たまり
やがて
消え失せてゆく
水たまり
わたしたちに肖ている
水たまり

わたしたちの深さ
それは泥の深さ

わたしたちの言葉
それは泥の言葉
泥のちぎり
泥のうなずき
泥のまどい

だが
わたしたちにも
いのちはないか
空に向う
いのちはないか
あの水たまりの にごった水が
空を うつそうとする
ささやかな
けれどもいちぢずないのちはないのか

うつした空の
青さのように
澄もう と苦しむ
小さなところ
うつした空の
高さのままに
在ろう と苦しむ
小さなところ

3. 川

何故 さかのぼれないか
何故 低い方へゆくほかはないか

よどむ淵 くるめく渦のいらだち
まこと 川は山にこがれ
きりたつ峰にこがれるいのち
空の高みにこがれるいのち

山にこがれて 石をみごもり
空にこがれて 魚をみごもる
さからう石は 山の形
さかのぼる魚は 空を耐える

だが やはり 下へ下へと
ゆくほかはない 川の流れ

おお 川は何か
川は何かと問うことを止めよ
わたしたちもまた
同じ石を 同じ魚を みごもるもの
川のこがれを こがれ生きるもの

4. 海

空をうつそうとして
波一つなく 風ぐこともある
岩と混じれなくて
ひねもす
たけり狂うこともある

しかし
凡ての川はみな
そなたをさして常に流れた
底に沈むべきものは沈め

空にかえすべきものは
空にかえした

人でさえ 行けなくなれば
そなたを さしてゆく
そなたの中の 一人の母をさしてゆく

そして そなたは
時経てから 充ち足りた死を
そっと岸辺にうち上げる
みなさい
これを見なさい と云いたげに

5. 海よ

ありとある 芥
よごれ 疲れはてた水
受け容れて
すべて 受け容れて
つねに あたらしくよみがえる
海の 不可思議

休まない 汀
波の指 白い指 くりかえし
うまず くりかえし
億の砂 億の小石を
数えつづける
海の 不可思議

くらげは 海の月
ひとでは 海の星
海螢 海の馬 空にこがれ
あこや貝は 光を抱いている

そして 深く 暗い 海の底では
下から上へ

まこと 下から上へ
雪は
白い雪は 降りしきる

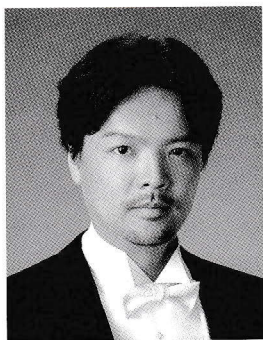
おお 海よ
たえまない 始まりよ
あふれるに みえて
あふれる ことはなく
終るかに みえて
終ることもなく
億年の むかしも いまも
そなたは

いつも 始まりだ
おお 空へ
空の高みへの 始まりなのだ

のぼれ のぼりゆけ
そなた 水のこがれ
そなた 水のいのちよ

たとえ 己の重さに
逆いきれず
雲となり
また ふたたび降るとしても

のぼれ のぼりゆけ
みえない つばさ
いちずな つばさ あるかぎり
のぼれ のぼりゆけ
おお



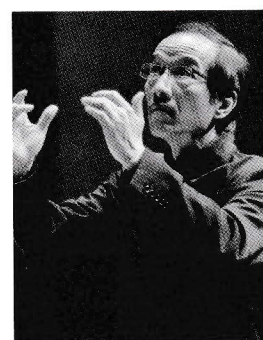
指揮者 **萩原 寛明** はぎわら ひろあき

京都市立芸術大学音楽学部卒業、同大学院修士課程修了。ウィーン国立音楽大学卒業。高校時代に合唱部で活動し、指揮者を務めたのをきっかけに声楽家を志す。ウィーン留学中にはプロ合唱団であるアーノルト・シェーンベルク合唱団に所属し、ニコラウス・アーノンクールをはじめとする世界的指揮者らのもと、ヨーロッパ各地での演奏会や録音等に参加し合唱に対する造詣を深める。現在は、オペラや演奏会にソリストとして多数出演するとともに、合唱の分野でも意欲的に活動している。関西二期会会員、神戸女学院大学講師、大阪ゲヴァントハウス合唱団指揮者、大阪大学男声合唱団ヴォイストレーナー。



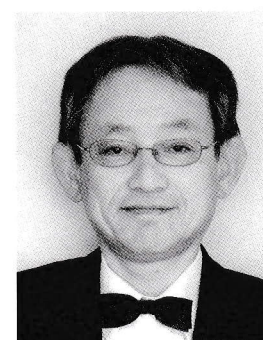
指揮者 **本城 正博**ほんじょう まさひろ

大阪大学卒業。発声法を櫻井吉明、福島慶子、小玉晃の各氏、指揮法を櫻井吉明氏に師事。プスト、バミントゥアン、コチャール、新実徳英、信長貴富、松下耕、佐藤賢太郎、千原英喜、相澤直人の各作曲家の委嘱初演を行い交流を深める。全日本合唱コンクール全国大会にパナソニック合唱団を率い、20回の金賞を受賞する。最近では、中国・ニューヨーク・トロサ公演などの海外演奏、合同演奏等の客演指揮や審査員としても活躍するとともに、委嘱作品初演やCDリリース、若い世代との交流に積極的に取り組んでいる。JCDA日本合唱指揮者協会会員。21世紀の合唱を考える会 合唱人集団「音楽樹」会員。大阪府合唱連盟理事。関西学生混声合唱連盟顧問。大阪男声合唱団指揮者。Coro di Ars指揮者。パナソニック合唱団常任指揮者。



指揮者 **甲和 伸樹**こうわ のぶき

1977年大阪大学入学と同時に大阪大学男声合唱団に入団。ベースのパートリーダー及び技術委員長を務める。阪大男声の技術顧問であった故 櫻井吉明氏が率いるコードリベット・コールに1981年に入団しパートトレーナー。1982～84年大阪男声合唱団にて副指揮者。東京に転居後暫くは合唱から離れるが、10年後に活動を再開、2001年大阪男声の東京練習開始を機に練習指導に携わり、定期演奏会、支部単独ステージやジョイントコンサートの合同演奏などを指揮。居住地近隣の合唱団においても運営や技術スタッフとして活動の幅を拡げ、現在は松戸市民コンサート実行委員長及び合唱団インスペクタ、コールMS爺い主宰。



指揮者 **坂田 裕二**さかた ゆうじ

1979年、大阪大学男声合唱団入団。故 櫻井吉明氏の指導を受ける。1983年、同氏創設の混声合唱団コードリベット・コール入団。音楽監督・延原武春氏、元指揮者・畑儀文氏、元ヴォイストレーナー・中村勢津子氏、渡邊由美子氏の指導を受け、団内指揮者の一人として練習を担当。また教会等の演奏会で、賛美歌や、シュッツ、バッハ、ヘンデル、メンデルスゾーン、ブラームス等の宗教音楽を指揮。2011年、大阪男声合唱団入団。同年男声アンサンブルTCBNクワイヤの結成に参加。2013年、同アンサンブルにより第6回全国男声声楽アンサンブルコンテスト「三田ハモらっせ！」最優秀賞。



ピアニスト 坂田 百合子 さかた ゆりこ

国立音楽大学音楽学部器楽科ピアノ専攻を卒業。イタリアでオペラ歌手 故ジュリオ、バルデイ夫妻の伴奏に同行するなど声楽・合唱の伴奏や弦楽室内楽とのアンサンブルを数多く手がけている。ピアノ、室内楽、伴奏法を高市貴久枝、岩崎淑、賀集裕子、チェンバロを新谷久子の各氏に師事。ピアノ演奏以外に千葉県下の合唱団の指導者を務めるかたわら、近年は港区文化財団所属の200名を超える合唱団の指導陣としてピアノ伴奏に携わり、指揮者大友直人の指導を受けている。大阪男声合唱団東京支部の通常練習や演奏会には10年以上にわたってかわり、本年からは東京甲陵会合唱団のピアニストも務めている。



ピアニスト 内藤 菜穂子 ないとう なほこ

兵庫県立西宮高等学校音楽科を経て、神戸女学院大学音楽学部卒業。同大学大学院音楽研究科修了。鈴木豊子記念賞受賞。兵庫県立美術館、兵庫県民会館、カワイ梅田ジュエにてソロリサイタル開催。神戸女学院大学オータムコンサート、同大学新人演奏会、第85回読売新人演奏会、修士課程修了披露演奏会等多数出演。これまでに山本未央、小西豊子、松村英臣、成瀬修、坂井千春、山上明美の各氏に師事。現在、大阪スクールオブミュージック専門学校非常勤講師、エリーゼ音楽アカデミー講師、新響楽器ピアノ講師を務める傍ら、ソロ、室内楽、伴奏など幅広く活動している。

大阪男声合唱団 これからの活動予定

第19回定期演奏会を終えると大阪男声としては「新年度」となり、下記のような演奏会に向けて新しい曲の練習を開始します。本日ご来場の皆さま方には、これらの演奏会にもぜひ足をお運びいただきたくお願い申し上げます。

◆第19回東京男声合唱フェスティバル

(2019年11月9日(土)、浜離宮朝日ホール、東京支部が参加)

◆第40回四つの男声合唱の集い

(2020年5月6日(振替休日)、兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール(兵庫県西宮市))

◆第20回記念大阪男声合唱団定期演奏会

(2020年夏に大阪で開催の予定(日程・会場未定)。現役との合同ステージなど企画中)

OB諸氏にはこの機会に大阪男声への入団あるいは各演奏会への賛助出演を検討いただきたく、練習場へのお越しをお待ちいたします。東京支部と大阪本部の練習日程・会場・練習曲目等については「大阪大学男声合唱団OB会&大阪男声合唱団」のホームページでご確認ください。

大阪男声合唱団

「大阪男声合唱団」(大阪男声)は、大阪大学男声合唱団(阪大男声)OB等の合唱団として1954年に発足し、1959年までは毎年の阪大男声の定期演奏会に賛助出演したほか、関西の合唱祭はじめ多方面で活発に活動を行いました。その後20年余りは休眠状態になりましたが、1980年から活動を再開し、1982年5月には「五つのOB男声合唱の夕べ」に出演しました。東大、京大、神戸大、大阪市大と阪大のOB男声合唱団が一堂に会するこの合同演奏会は、やがて「ANCORの会」と名付けられ、本年5月の「第39回四つの男声合唱の集い」まで毎年開催を続けています。

1990年代の終わり頃から、阪大男声草創期のOBが職場の現役を引退する時期を迎え、それら諸先輩によってOB会と大阪男声の体制が再整備されました。そして2001年7月、「第1回大阪男声合唱団定期演奏会」と銘うった単独の演奏会を大阪で開催し、幸いにしてその後も毎年、定期演奏会の開催を続けることができ、第7回は大阪・東京の2回公演、第8～11回は愛知県瀬戸市を加えた3回公演を果たしてきました。第12回からは大阪と東京の交互開催となり、今回の東京開催に至っています。

一方、阪大男声OBは関東地区居住者も多く、その有志が2001年2月から東京での練習を開始し、大阪で開催される定期演奏会にも毎年有志が参加してきました。その人数が次第に増え、2006年からは単独で東京男声合唱フェスティバルに出演することになり、その機会に「大阪男声合唱団東京支部」という名称が決まりました。東京支部では2015年度からはヴォイストレーナーとして声楽家の石川洋人氏を招くなど独自の活動の充実を図り、2018年10月には本日賛助出演の両合唱団等とのジョイントコンサート「コーラスの玉手箱」も実現しました。

2017年8月には団則を改正し、大阪男声合唱団は活動の拠点を大阪府と東京都に置き、それぞれ大阪本部、東京支部として普段の練習と独自の演奏会活動を行うとともに、本部と支部の共通の活動である定期演奏会は大阪と東京が一致協力して開催するという位置づけを明確にしました。

第1テノール	第2テノール	バリトン	バス
O 岡田 伸太郎	O 多田 晴彦	O 今村 陽一	O 中野 洋介
T 国分 和夫	O 子安 一男	T 淵山 正樹	O 江村 和朗
O 栗山 和郎	O 名迫 行康	O 田口 孝人	T 木戸 啓喜
T 高木 保	O 田村 坦之	T 福井 朗	O 大海 治
O 上田 勝己	O 細谷 正純	O 荒木 正雄	O 樋口 久夫
O 高山 裕二	O 藤本 好司	O 片桐 知之	O 松宮 啓
O 木下 義和	T 宇野 肇	T 高島 志信	O 望月 和彦
T 村田 洋一	T 富田 義人	T 奥村 秀策	T 渡邊 史信
O 平木 秀男	O 詠田 英夫	T 石橋 博	O 佐々木 泰介
T 寺尾 敏康	O 豊原 力	O 橋本 達弥	O 本城 正博
O 内田 裕樹	T 江守 茂和	O 今井 孝至	O 大和 俊哉
S 檜木 勘四郎	T 佐藤 圭司	O 山田 雅朗	T 木田 英之
S 花田 武司	O 久米 勝彦	O 池田 直昭	T 鈴木 啓司
S 井上 翔太	O 本間 真人	S 清田 展弘	T 甲和 伸樹
	O 熊澤 宏之	S 菅谷 俊	O 坂田 裕二
	O 明渡 寛		
	T 岡部 寛正		
	O 野上 貴弘		
	O 高橋 宏明		

O:大阪団員(39) T:東京団員(19) S:賛助出演OB(5)

賛助出演団体

【大阪外国語大学グリークラブOB合唱団(東京)】

大阪外国語大学グリークラブの誕生は93年前の1926年に遡ります。1998年に現役学生の活動は幕を閉じましたが、同年東京で、そして2001年には大阪でOB合唱団が結成され、現在では関東、関西、東海地区を合わせて50名を超える陣容となっています。関東地区では、2002年から二期会の小貫岩夫氏を指導者に迎え、現在では、小貫先生に加え、坂井美樹先生からも指導を受けています。

「日本合唱音楽の父」と称される清水脩は在学中にグリークラブの指揮をした大阪外語の大先輩であり、清水脩の曲は我々にとって欠かせないものとなっています。とくに、氏の代表作でもある男声合唱組曲『月光とピエロ』は、創部50周年記念演奏会(1976年12月)において同氏の指揮で演奏したほか、清水脩生誕100周年記念演奏会(2011年11月)など節目の演奏会で度々演奏して参りました。なかでも、創部90周年記念演奏会(2016年12月)では大阪男声合唱団東京支部などの賛助を得て、120名の大合唱で『月光とピエロ』を歌いあげました。

本日は日頃からジョイントコンサートなどで親しく交流させていただいている大阪男声合唱団の定期演奏会に賛助出演させていただき、嬉しく思っております。

第1テノール	第2テノール	バリトン	バス
五十嵐 強	赤城 一字	西川 哲朗	真鍋 一史
保川 一治	杉本 啓一郎	浜崎 慎吾	南 雄次
戸田 貴之		岸本 保	樽井 一仁
		福田 洋之	山口 伸
		表 昇平	

【東京甲陵会合唱団】

神戸・六甲山の麓にある甲南大学。その地で生まれた甲南大学グリークラブOB関東在住者を中心に1999年に結成されました。創部50周年の演奏会出演をきっかけに、今年で結成20年になります。その後、半世紀以上に亘って交歓演奏会を行っている学習院大学男声合唱団の現役、OB、最近では関西の大学合唱団OBもメンバーに加わり、年齢も20代から80代までが参加し、出身や年代の様々なメンバーが、互いに刺激しあいながら一つの曲を作り上げていっています。

毎年の合唱祭参加、現役との合同演奏会、学習院大学男声合唱団との交歓演奏会に加え、昨年は大阪男声合唱団、大阪外国語大学グリークラブOB合唱団との合同演奏会「コーラスの玉手箱」を皆さんと開催し、年々活動の幅を広げています。

甲南学園は、今年の4月に創立100周年を迎えました。その長い歴史の中で、甲南大学グリークラブも2021年に創部70周年を迎えることとなり、記念演奏会も予定しています。今後も気持ちはいつまでも現役で(気持ちと身体がズレがありますが。。。)、まだまだ元気に歌っていきたいと思います。

第1テノール	第2テノール	バリトン	バス
松下 裕紀	酒井 裕	山田 紘士	南波 展樹
太田 竹信	中平 悟		道下 和輝
大前 靖彦	松田 博義		
	深田 義則		
	高橋 克明		



大阪男声合唱団

<http://wp.handaidanseiob.com/>

第19回 大阪男声合唱団 定期演奏会

2019年7月21日(日) 開場 13:15 開演 14:00
第一生命ホール 入場料 1,000円(全席自由)

第19回
大阪男声合唱団
定期演奏会

東京都中央区晴海 1-8-9 晴海トリトンスクエア内 TEL 03-3532-3535

- 都営地下鉄大江戸線「勝どき駅」A2a出口徒歩8分
- 都営バス「都03」系・「都05」系 晴海埠頭行「晴海トリトンスクエア前」徒歩1分

(乳幼児、就学前のお子様をご同伴の入場はご遠慮ください)

